

令和6年度高砂市成年後見制度地域連携ネットワーク協議会（第3回）議事録【概要】

日時 令和7年2月12日（水）午後2時～午後3時30分

場所 高砂市福祉総合相談センター 2階会議室

-
- 1 開 会
 - 2 協議事項
 - （1） 成年後見支援センター事業について
 - （2） 各機関の取り組み状況について
 - （3） その他
 - 3 閉 会
-

協議事項（1）成年後見支援センター事業について

○会長（成年後見センター・リーガルサポート兵庫支部）

成年後見支援チーム会議は、随時開催しているのか。またチーム会議の内容を教えてください。

○事務局（成年後見支援センター）

チーム会議は、必要に応じて開催している。主に後見人が就任したタイミングで関係者を招集し支援の方向性等について協議している。また、既存の地域ケア会議なども活用し、チームとして成年後見制度の利用を支援している。

○委員（権利擁護センターぱあとあ兵庫）

1月27日開催の第2回研修会について、参加者の感想と参加者の内訳を教えてください。

○委員（成年後見支援センター）

感想については、アンケートを他の研修や事業と同様に実施しているが現在集計中のため資料に添付していない。事例を挙げての説明が良かったと聞いている。

○事務局（成年後見支援センター）

参加者は、障害福祉サービスの相談支援専門員5名、基幹相談支援センター1名、介護保険サービスの居宅介護支援事業所7名、地域包括支援センター10名の計23名参加となっている。

○委員（地域包括支援センター）

地域包括支援センターから三職種以外のプランナーも多く参加した。わかりやすい内容で成年後見制度について学ぶ良い機会となった。

○副会長（兵庫県弁護士会）

アンケート結果を受けて、センター運営や事業において何らかの変更をした方が良かったものがあるか。

○委員（成年後見支援センター）

出前講座に関して時間が短い、内容が難しい等の意見があったので内容を含め見直したい。また、研修を通じて成年後見制度の利用そのものよりも終活や相続問題への関心、具体的に申し立てに必要となる費用を知りたいとの意見が多くあった。次年度は成年後見制度の利用支援とともに市民の関心の高い終活や相続について積極的に広報していきたい。

○副会長（兵庫県弁護士会）

次年度以降の研修会の講師に、個々に違いはあるが成年後見制度利用に係る費用面について、目安を説明いただけるよう伝えてほしい。

令和7年度の後見人支援機能の取り組みで、後見人交流会の開催が削除されているが、これに至った経緯とそれに代わる事業があるのか、あれば教えてほしい。

○委員（成年後見支援センター）

後見人交流会の開催について、前回のネットワーク協議会で委員のみなさまからいろいろと意見をいただいた。近隣市では親族後見人への呼びかけや参加者への広報に苦慮していると聞いている。そのため高砂市では、交流会という形ではなく相談会の回数を増やすなど日々の相談支援の中で後見人支援を実施していきたい。

協議事項（2）各機関の取り組み状況について

○委員（介護支援専門員協会高砂支部）

介護支援専門員協会では、身寄りのない人の支援について分野を超えて考える場が必要だと考えている。他市ではガイドラインの作成に取り組んでいるところがある。

○会長（権利擁護センターぱあとなあ兵庫）

身寄りのない人の支援に関するガイドラインは、行政と関係機関が一緒に作ったものでないと波及していかない。関係団体だけで作るのではなく市や社協、地域包括支援センター、成年後見支援センターなどが参加する協議体の設置を市に要望したい。

○委員（地域包括支援センター）

身寄りのない人の支援については、地域包括支援センターでも以前から課題となっている。解決手段のひとつとして、成年後見支援センター立ち上げを社会福祉協議会から市へ要望し立ち上げに至った。

身寄りのない人の支援において、職員がグレーな部分の対応をやむを得ず行うこともある。市としてガイドラインを作成するのであれば、どういう部分の検討をするのかも重要だと思う。

○会長（成年後見センター・リーガルサポート兵庫支部）

ガイドラインを作成することでグレーな部分を専門職ができなくなることもあるのではないかと。

○副会長（兵庫県弁護士会）

朝来市のガイドラインを確認するとしっかりと作りこみがされている。これを各市町が、高砂市が新たに作成する必要があるのか。

○委員（権利擁護センターぱあとなあ兵庫）

朝来市と同じものを作る必要はないと思う。身寄りのない人の支援について、関係機関が集まり今ある課題を確認する場が必要だと考えている。

○副会長（兵庫県弁護士会）

介護支援専門員協会では、会員から身寄りのない方への支援や意思決定の支援について相談を受けた場合、どのような回答、対応をしているのか。

○委員（介護支援専門員協会高砂支部）

直接、相談が介護支援専門員協会に寄せられるケースはあまりないが、身寄りのない方の支援についてこういうことに困った、こんな対応をしたなどの話を聞くことはある。

○委員（社会福祉協議会）

色々な問題に取り組むことは大事だが、高砂市で独自に策定する必要があるのか整理が必要ではないか。もう少し介護支援専門員協会で検討いただき、ネットワーク協議会にも情報を共有いただければと思う。

○会長（成年後見センター・リーガルサポート兵庫支部）

身寄りのない人の支援については、介護支援専門員協会において具体的に課題を整理いただき次に繋げていく形をとりたい。

○副会長（兵庫県弁護士会）

基本計画の次期計画について、ネットワーク協議会以外に別途、策定委員会を立ち上げるのか。立ち上げるのであればいつ頃の開催となるのか。

○委員（市）

策定委員会は別途、市が立ち上げる。現計画が令和9年度までとなるので、最短での策定とするなら令和9年度の立ち上げとなる。内容の検討に時間が必要ならば前年度に立ち上げる場合もある。

○副会長（兵庫県弁護士会）

今回のネットワーク協議会では、基本計画の中間検証もできていると思うので市から資料を提出してほしい。

協議事項（３）その他について

令和7年度第1回ネットワーク協議会を令和7年5月28日（水）14時から、第2回ネットワーク協議会を10月2日（木）14時から開催する。